

そらこめ通信

No.54 2015年1月号

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。

さて、2015年の年が明けました。今年も昨年同様、よろしくお願いたします。

今回の年末年始、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしたか？ご家族で故郷に帰省された方も多かったのではないのでしょうか。昨年の暮れ、官公庁や民間企業の多くは12月26日が仕事納め。翌日27日から休暇に入り、年が明けて1月5日の仕事始めの前日まで連続9日間という長期休暇を取得された方も多かったのではないかと思います。実は連続9日間の休暇というのは昨年と同じ。昨年末に発表されたJTBの調査結果によると、今回の年末年始における国内と海外を合わせた旅行者動向は3,045万人となり、過去最高となった前年同期に続いて2番目の規模になるとの事。全国民のおよそ25%に当たる人たちが何らかの旅行を企画したという事になります。前年よりさらに円安が進む中でさすがに海外旅行は2.9%程度減少したようですが、それでもこの数字はすごい一言です。

報告によれば、旅行者動向が好調な背景には長期間の連続休暇に加えて景気の上向き感などもあるようです。景気の「気」は気持ちの「気」とも言います。半分はそうかなと思いつつ、残りの半分は・・・。地方に住む者としては、いまいち実感が無いのが正直なところ。

今年の年末年始は降雪がさほど多くもなく、比較的穏やかな正月を迎えることが出来ました。1月3日から40～50センチくらい雪が降りましたが、何と言っても沼田町は元祖豪雪地帯。これくらいで済んでいるうちは良い方です。このまま、冬が過ぎ去ることを祈るばかりです。



北海道深川市にある拓殖大学北海道短期大学において、第48回農業セミナーが開催されました(12月6日)



セミナーの聴講に集まった人たち



基調講演をされた吉川雅子氏



本学で生産された食材を使った試食会



ご講演された桑山正人氏



ご講演された星野サチ子氏



ご講演された高橋朋一氏



パネルディスカッションのようす



精米後の機械の清掃(12月16日)



門扉に乗った雪～まるで笠地蔵(12月16日)



土壌検査の土をほぐす作業(12月23日)



社屋内に安置された神棚(12月31日)



本社正面玄関のようす(12月31日)



しめ飾り(12月31日)



本社全景(1月3日)



圃場～見渡す限りの雪原です(1月3日)

昨年の12月6日吹雪の中、拓殖大学北海道短期大学で通算48回目の農業セミナーが開催され参加してきました。今回のテーマは「農家の産直活動と地域活性化！～北海道農業の可能性」です。テーマの最後に何故？を付けたのか主催者の意図については良く判りませんが、各講師の講演内容はどれも素晴らしいものばかり。弊社の今後の戦略に生かせればと考えています。これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
ブログ「生産日誌」更新中です

インターネットで美味しいお米!